特　集

伊達身体障がい者福祉協会の皆さん19名が議会を傍聴しました。

6月22日の一般質問を見ていただき、全員よりその感想をいただきました。

毎年恒例となっております、伊達身体障がい者福祉協会さまの議会傍聴が今年も行われました。

【市議会を傍聴した感想は】

▼S・M　新型コロナウイルスの感染拡大に備えて準備していることがわかった。話の内容が少し難しかったです。

▼K・K　新型コロナウイルスなどについて、今年は色々と心配です。

▼Y・H　今年は皆さん、大変な年になりますね。

▼Y・T　議員さんの意見や話を聞いていて「今は伊達市内に新型コロナウイルスの感染者が出ていないが、油断はできないな」と感じた。自然環境の整備など、もっと議員さんも市民皆と話し合って、より住みやすい環境になって欲しいな、と思いました。

▼M・M　議会の傍聴は2回目です。市議会議員さんは沢山いるんだな、と思った。難しい話が多かったが、笑いが出る場面もあったので良かった。フカフカした絨毯の議場に入ることができて、貴重な体験ができました。

▼M・K　市議会傍聴は5回目くらいですが、今回は議場内に入れて感謝している。議員さんの質問に市長や部長が答えている様子を、一市民として見せていただいて、質問に対しての受け答えがあって、こんな風に成り立っているんだなと、勉強になりました。

▼W・S　市議会傍聴は2～3回目です。市議の皆さんの話が聞けて、勉強になりました。

▼M・S　市議会傍聴は5～6回目です。議員さんの発言が素晴らしく、感動しました。

▼A・I　何度も要望書を出していて、年数はかかりましたが、視覚障がい者用ラジオが給付の対象となりました。

何か助けてもらうためには、めげずに繰り返すことが大切です。右から左に

ホイホイという感じにはなかなかはいきませんが、長く時間をかけると、いつかは聞いてくれるものだなと思います。

▼U・F　市議会傍聴は2回目です。

1回目は雰囲気を感じただけでしたが、今回は内容もしっかりと聞くことができました。今年は新型コロナウイルスが大きな問題であると市民皆が感じています。答弁の中で、感染の際の避難所が4000人くらいしか受け入れられないとありました。4000人は少ないな、と思いました。

市長が真面目な方で、冗談が苦手な人なんだな、と思いました。

▼Y・N　議員さんの話は普段は聞けないので、貴重な経験でした。

▼N・I　今日で市議会の傍聴は2回目になります。

勉強になりました。今後ともよろしくお願いいたします。

▼T・N　市議会の傍聴は4～5回目になりますが、今回の傍聴が一番身にしみました。コロナウイルスや災害など、身近な問題が議題だったので、興味が持てましたし、理解できた部分もありました。楽しく聞けました。

▼H・T　今年身障協会に入会したばかりです。市議会の傍聴は3回目です。仕事で東京に行き、国会に入ったことがあります。国会で行っていることを伊達市でも行っていました。国会と同じ形式なんだな、と思いました。

▼Y・I　新型コロナウイルス対策について、国や都道府県レベル、市町村レベルの話はよく分かりました。色々と議論をして問題解決をしているようで、安心できました。更に積極的な情報発信を望みます。

▼K・M　身障協会での傍聴はかなりの回数、20年以上になります。

今回はタイムリーな話題で面白かった。市長の反応も見ることができました。議員さんの質問と部長の答弁といった、やり取りの応酬は見ていて面白かったです。

伊達市側の答弁についても、法令に基づいての説明のみならず、市民感情に寄り添った議論となり、よかったです。

具体的な感想としては、小倉議員の質問については、1年生議員としてはしっかりと勉強しており、非常に感心しました。アフターコロナ時代において、オンラインを活用しての学校の整備体制について気になりました。日本はその辺が特に弱いように感じます。伊達市においても、積極的な取り組みが必要ではないでしょうか。また、小倉議員が発言した「イメージを持っての対応の必要性」という点が良かったように思いました。

洞口議員の質問については、プレミアム付商品券に言及されていた点に注目いたしました。これからどのような形で出てくるのか、期待していますし、市民の注目も集まるのではないでしょうか。市長とのやり取りもあり、その中では笑いも少しあり、テレビ中継での国会討論を見ているようで、興味深く見せていただきました。引き続き市民の感情を巻き込んだやり取りを期待しています。

今回の議会傍聴に際しましては、世間が注目している新型コロナウイルス対策という現実的な議論が多く、身近に感じられる内容であり、議論の中身の濃いやり取りが見られました。楽しんで傍聴させていただきました。

ありがとうございました。